**沖縄女性遺棄の抗議大会、公明党は不参加の意向**

　沖縄県うるま市の女性を殺害、遺棄したとして米軍属の男が逮捕された事件を受け、１９日に那覇市で予定されている抗議の県民大会について、公明党県本部は１１日、現状では参加できないとの意向を主催者側に伝えた。

自民党県連も不参加の方向で調整しており、大会は超党派による開催が困難な状況になっている。

　県民大会を主催するのは、知事を支える革新政党や団体などでつくる「オール沖縄会議」。大会名を「元海兵隊員による残虐な蛮行を糾弾！被害者を追悼し、沖縄から海兵隊の撤退を求める県民大会」に決めた。

　同会議は、自民、公明両党や、県内全市町村長らに広く参加を呼びかけている。両党は抗議の趣旨には賛同しつつ、主催者が革新色の強い団体で、大会名に「海兵隊撤退」を盛り込んでいることなどに反発していた。